

大

国

外

交

Part 2

People's Republic of China



&

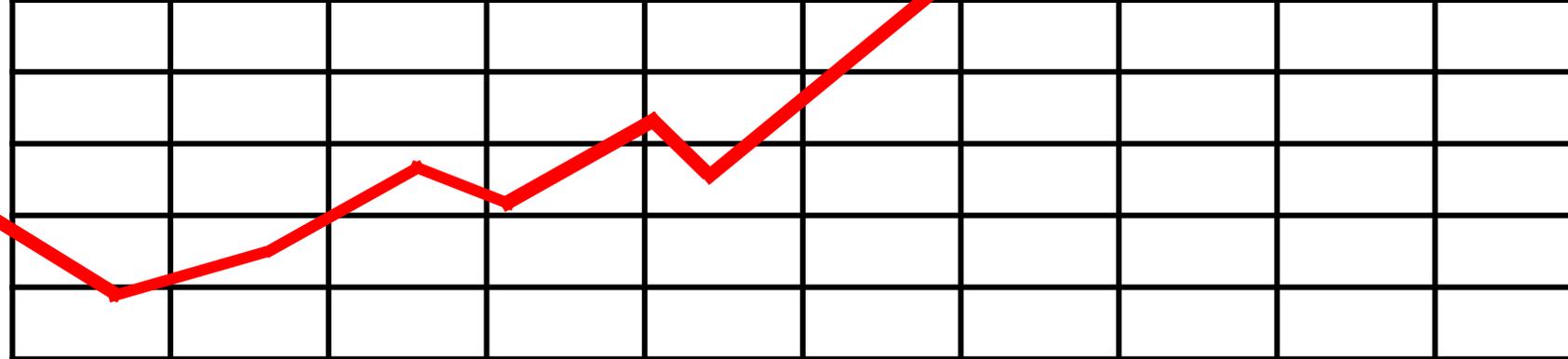
United States of America



中華人民共和國
アメリカ合衆国

9:50~

中国、大国へ



2010年、中国のGDP(国内総生産)が日本を追い越し世界第二位の経済大国となった。

※アメリカ19,480.40 中国12,014.61 日本4,873.20 (2017年)

- 経済大国になれたわけは？
- **改革開放政策**(1978年) 時の指導者だった鄧小平が鎖国状態の中国の門をこじ開け、経済特区を設け、多くの海外企業を迎え入れた。当時は経済が未熟であったために人件費も安く、海外企業はこぞって中国に工場を建て、中国は見事に「世界の工場」となったのだ。



修昔底德陷阱(トゥキディデスの罠) 10:37～、他

- 古代アテネの歴史家・トゥキディデスにちなむ言葉で、従来の覇権国家と新興国家が戦争が不可避の状態までぶつかり合う現象のことをいう。
- 2015年、オバマ大統領との米中首脳会談で、南シナ海で急速な軍拡を進める中国への牽制として用いられた。
- 新興大国の中国と従来の覇権大国アメリカがどうすればいずれの軍事的衝突を回避できるかとして動画内のアメリカ編でたびたびこの単語が出現する。
- それぐらい米中関係は繊細で慎重に扱わなければならない。

米中首脳会談(11:14～)

- 2017年4月6日、習近平国家主席はトランプ大統領と会見を果たした。会見内容は①に双方の経済関係と貿易問題、②に安全保障問題を重点に話し合われた。(動画内) また、③に法執行・サイバーセキュリティー、④に社会・文化についての対話も予定されている。

動画内では両首脳和気あいあいと会談されていたが、大統領選のさい、トランプ氏は中国を激しく非難、中国との貿易赤字と雇用消失は許容できないと語っていた。そして、彼の大統領選に宣言したマニフェストの通り、現在中国に莫大な関税をかけている。

「双方有一千条理由把中美关系搞好，没有一条理由把中美关系搞坏」

お互い米中関係を改善するのに千の理由もあるが、関係を悪化させる理由は一つもない

習主席、“罨”への発言 16:07~

- 2015年9月22日にシアトルで行われたワシントン政府とアメリカ友好団体との歓迎パーティーでの習主席のスピーチ(一部)
- 「世界に“トウキディデスの罨”は存在しない、しかし大国間で戦略的なミスが発生した場合、自ら“罨”を掘ってはまってしまうかもしれない。」
- 現在は両国が“罨”の周りをぐるぐる回っている状況にある



Part 3

Major-Country Diplomacy

CHINA & EUROPE

17:45~

獅子、西へ



- 近年の急速な発展で再び獅子として目覚めた中国に対して、ヨーロッパはこの獅子と“対話”を図ろうとしていた…
- 2014年3月31日、習近平国家主席がEU本部(ベルギー・ブリュッセル)を訪ねた。中国とEUとの国交が成立(1975年)して以来の初めての訪問。

※1971年の中国国連加盟や翌年の米中急接近が大きな原因とみられる。

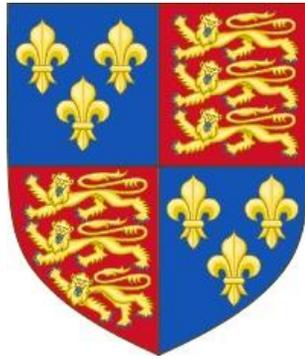
獅子と鷲

19:58



- 「中国とドイツはもはや経済関係だけでなく、さらに政治・戦略的パートナー関係も深めていく。」
- 中国が毎年輸入している自動車やその部品のなかで、ドイツ製品が占めるシェアは約30%以上、輸入する機械製品の15%もドイツから来ている。一方、ドイツが輸入する貿易相手国について中国はオランダに次いで第二位である。
- しかし、政治面では両国に溝がみられる。中国政府による自由への抑圧や人権侵害を激しく批判しているからである。

獅子と白百合



- 「中国とフランスは共に半世紀前に冷え切った関係を打ち破った勇気を引き継ぎ、全面的な戦略パートナー関係の新時代を作り上げよう。」
- 英EU脱退や独財政困難のなかで存在感を強めているフランスを中国が注目しないはずがない、また現大統領のマクロン氏も「中国寄り」な態度を見せつけ両国の関係向上が感じ取られる。
- しかし、両国の貿易不均衡の問題にマクロン氏は「シルクロードは一方通行ではない」と中国に対して市場の開放を強く求めている。

獅子と獅子



- 「中国とイギリスは共に黄金時代へ向かう扉を開き、新たな
里程標を建てよう。」※里程標: 物事の推移・発展の一過程を示すし
- 2015年、イギリスがAIIB(アジアインフラ投資銀行)に参加を決定
- 人民元が国際通貨基金(IMF)内で特別引き出し権(SDR)の構成通貨として決定したため、イギリスは中国との貿易拡大を目論んでいると思われる。

※特別引き出し権(SDR): 国際通貨基金の加盟している国が財政困難に陥った場合、融資をしてくれる制度

アジアインフラ投資銀行: 日米が主導するアジア開発銀行の代替的にアジアの福祉向上や経済成長を助長するために中国が開設した国際開発金融機構



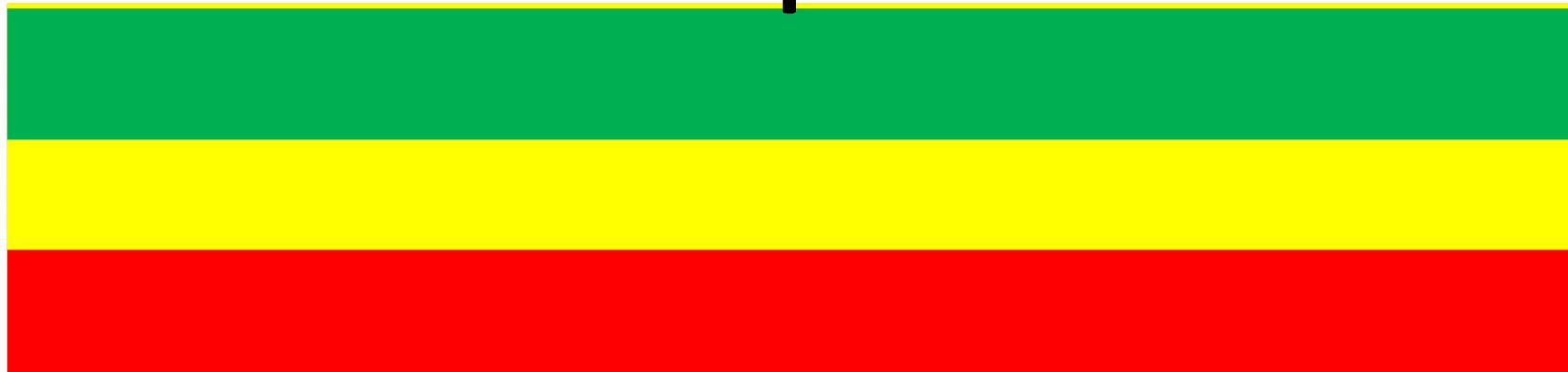
Diplomatie major-pays

Partie 5

31:49~



L'Afrique et Chine



獅子、褐色の大地へ



- 中国とアフリカ諸国はともに列強に抑圧・植民された共通の歴史がある、中国は反帝国主義の民族解放支援を全面的に押し出しアフリカ諸国の独立を支援し国交を結んできた。
- 一方、1971年の国連総会で中国の代表権が人民共和国に移った際はアフリカ諸国の投票があったからこそである。
- 「アフリカには世の中が発展するに必要な貴重資源が豊富に眠っている、もう一点重要なのは**アフリカの60%の人口は比較的に若い**」
そのため、世界各国はこのアジアに次ぐ巨大市場でのビジネスの拡大を目論んでいる。

タンザン鉄道

- 全長1859km、タンザニアのダルエスサラームからザンビアのカピリムポシを結ぶ中国が作成した鉄道
- 1970年代、鉄道建設開始時、中国は4億320万ドルを無利子で貸し出し、約2万人の中国人労働者を現地へ派遣した。



タンザニア



ザンビア



ナイロビからモンバサへ

- 2017年、ケニアの首都・ナイロビから南東部の港湾都市・モンバサ間を結ぶ鉄道が開設した。建設資金の9割が中国負担
- ブリッジ式の動物通路はすべて6.5m以上、環境保護だけではなく東アフリカ最大の港であるモンバサと内陸を繋げることでモンバサ経済特区の発展を激化する。

